

学会参加報告書

R 21-042 田辺 泉樹

学会名：韓国放射線技術学会

2024年3月14日から17日までの4日間、韓国を訪れた。目的はサムスンソウル病院の見学、及びソウル学術大会の参加である。

14日に韓国に到着し、15日には江南を訪れ、サムスンソウル病院を見学した。ソウルの南部に位置する江南は、高級住宅地や商業地として知られる韓国経済の中心地である。そのような地域にあるサムスンソウル病院は、ソウルの5大病院の一つであり、約2000床を持つ大病院である。新型コロナウイルス感染症の流行以降、医師が患者と直接対面して診察することがないようにロボットを通して患者の診察をしていると聞き、日本との違いに驚いた。またロボットが病室の患者に薬を届けたり、院内の行きたい場所の案内をしてくれたりするそうで、最先端の病院であることを実感した。

またサムスンソウル病院はがん治療に特化しており、米誌「Newsweek」が毎年発表している世界の病院ランキングの2024年版では、がん部門のトップ10に選出された病院である。韓国では国立がんセンターとサムスンソウル病院のみが保有している陽子線治療装置を用いて、数多くの陽子線治療が行われている。さらに、がんの治療に力を入れるだけでなく、がん患者が効果的な治療を受け、健康を維持できるよう支援するためのウェルネスプログラムの提供をされている。がん患者とその家族が疾患について理解した上で、治療に関する情報を得ること、また治療後の不安を解消するために身体的、精神的なケアと管理方法も各分野の専門家から教えてもらうことができるそうだ。日本とは違う患者中心の、医療の提供体制に感銘を受けた。

そして、16日にはCOEXで開催されたKIMES 2024の学術大会に参加した。国際ナショナルセッションでは、日本を含むさまざまな国の診療放射線技師、12名の方の発表を聴いた。英語で発表するにも関わらず、多くの聴衆を前に堂々と話し、質疑応答をされる姿に感銘を受けた。学術大会参加後は、会場に隣接しているCOEXモールで観光や買い物を楽しんだ。特に施設内に存在するピョルマダン図書館は開放的な空間であり、天井まで届く複数の大きな本棚には圧倒された。夜には会食に参加させていただき、学術大会に参加されていた診療放射線技師の方々と交流した。韓国人の方々は英語や日本語が堪能で、社交的で優しい方が多く、拙い英語でも楽しんで会話をすることができた。

今回の韓国への滞在では、積極的にコミュニケーションを取ったり、行動を起こしたりしたことによって、韓国の人や文化に触れるという貴重な経験ができた。この経験を日々の生活に活かし、自身の成長へと繋げていきたい。

最後に今回、引率してくださいました松尾悟先生、水田正芳先生、並びにこのような貴重な機会を設けてくださった韓国の診療放射線技師の方々、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。



サムスンソウル病院のロボット



がんのインフォメーションセンターの様子



ソウル学術大会での集合写真



ソウル学術大会での集合写真